

防災復興支援センター設立シンポジウムを開催しました

2023年6月16日 開催

テーマ：イベント、大学間連携、地域連携、地域防災、復興

会場：岩手県盛岡市 アイーナ7F 小田島組☆ほ〜る

岩手県立大学では、東日本大震災から12年目にあたる2023年を契機に、災害復興支援センターを改組し、新たに『防災復興支援センター』を立ち上げました。このセンター設立にあたり、岩手県の災害対応における様々な課題を共有し、それらの課題に大学間で連携しながら取り組んでいく姿勢を広く発信することを目的に、「岩手県立大学防災復興支援センター設立シンポジウム」を岩手県盛岡市 アイーナ7F 小田島組☆ほ〜るにて開催しました。

シンポジウム当日は、岩手県内外からの会場参加の他、オンライン参加を含め、計181名の方にご参加いただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

本シンポジウムでは、東北大学災害科学国際研究所 今村 文彦教授に「東日本大震災以降の防災・復興と大学参画の取り組み」と題した基調講演をいただき、弊センターからは、杉安 和也副センター長（総合政策学部）より、「防災復興支援センターの取組・活動紹介」を行い、新田 義修センター長（地域連携本部/総合政策学部）のファシリテーションによる地域防災活動での大学間連携に関するパネルディスカッションを実施しました。

本シンポジウムでは、岩手県からの共催、岩手県内外での防災・復興支援活動の先達にあたる岩手大学地域防災研究センター、岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター、東北大学災害科学国際研究所、大阪公立大学都市科学・防災研究センターの各組織にも共催をいただき、岩手大学地域防災研究センター 小笠原 敏記センター長、岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター 眞瀬 智彦センター長、大阪公立大学都市科学・防災研究センター 生田 英輔教授、より、各組織でのこれまでの防災・復興の取り組みをご紹介いただくとともに、今後の大学間連携について、意見交換を行いました。

防災復興支援センターは、今後も各大学・地域と連携しつつ、地域防災・復興活動の支援に尽力していきます。

■開催概要：

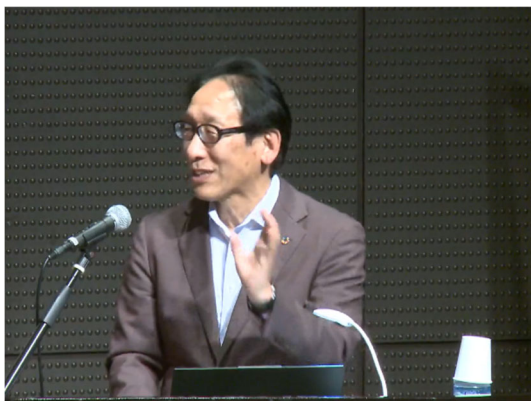
- (1) 日時 令和5年6月16日（金）14:00～16:30
- (2) 会場 アイーナ7F 小田島組☆ほ〜る ※オンライン併用
- (3) 対象 地方自治体の防災・復興担当者、自主防災会等の地域防災の担い手の方、防災上の課題を抱えている方、これから防災に取り組もうとされている方等
- (4) 共催 岩手県、岩手大学地域防災研究センター、岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター、東北大学災害科学国際研究所、大阪公立大学都市科学・防災研究センター
- (5) 参加者数 会場 134人（関係者含む）、オンライン 47人 計 181人

文責：杉安和也（副センター長 総合政策学部）

シンポジウム当日の様子



会場の様子



東北大学災害科学国際研究所長
今村 文彦教授による基調講演



岩手県立大学防災復興支援センター
杉安副センター長によるセンター活動紹介



パネルディスカッションの様子



パネリスト：東北大学災害科学国際研究所（今村 文彦教授）

岩手大学地域防災研究センター（小笠原 敏記センター長）

岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター（眞瀬 智彦センター長）

大阪公立大学都市科学・防災研究センター（生田 英輔教授）

岩手県立大学防災復興支援センター（杉安 和也副センター長）

ファシリテーター：岩手県立大学防災復興支援センター（新田 義修センター長）

文責：杉安和也（副センター長 総合政策学部）